

No. 2 6 5 5

のんびりと一山を目指す

太刀岡山

実施日 2014年1月19日(日)

天候 快晴

リーダー 石原 勝正

参加者 涌井良明、石附智江、伊藤久雄、
石原勝正、宇野輝代 計5名

費用 J R 高尾駅南口広場から太
刀岡山登山口往復2,000円(マ
イカー利用)

タイム 登山口P(9:55~10:30)鋏岩(10:3
5~11:05)太刀岡山&昼食(12:0
5~12:15)北峰(12:15~12:45)越
道峠(12:45~13:40)登山口P

会報では、甲府駅南口駅から金桜神社
経由昇仙峡滝上往きの路線バスを利用す
る予定であった。しかしながら、参加
者が5人と少人数であったため、下芦沢
集落の登山口駐車場までマイカーで往復
し、山行は駐車場を基点とした周回コー
スで実施した。

登山口駐車場～鋏岩

下芦沢駐車に立てられた太刀岡山登山
道と周辺案内絵図に従って橋を渡る。人



家の横手にある登
山道の標識を見て
細い道から山裾に
入ると、獣避けの
金網扉を開けてす

ぐに急な斜面をジグザクに登り始める。

危険ではないが、冷たい風が吹き付け
る雑木林のなかを霜で凍ったざらざらと

した歩きにくい木の根と土と岩まじりの
急登が続く。25分ほど登ると岩壁下部
に立派な祠のある直立した岩壁にでる。
岩壁は地元の人々の信仰対象となってい
ると思われ、中段にも祭壇と古い年号が刻
まれていた。また、岩壁は金属のボルトが
多数打ち込まれていたのでクライミングの
ゲレンデに使われていると思われる。

すぐ側に山頂まで1時間の標識があり



更に10分ほど登
り続けると狭い岩
尾根にたどり着
く。左側に鋏(は
さみ)岩が直立し

ており雑木林が北側に開け、茅ヶ岳から
金ヶ岳と曲岳(曲がった頂上に特徴のあ
る)の眺望が素晴らしい。

鋏岩～太刀岡山頂上

鋏岩から、狭い灌木と雑木林に囲まれ
た狭い尾根筋
を進む。花の
季節であれば
ミツバツツジ
やドウダンツ



ツジを楽しむことができる場所とのこと
であるが、登山道は吹付ける冷たい北風
と凍った霜と岩と木の根が入りまじった
ジグザクの急坂が続く。靴が滑らないよ
う慎重に30分ほど厳しい登りを続け
ると急に雑木林が明るくなり太刀岡山の頂
上に着く。狭い頂上は木立に囲まれてお



り山梨百名山の標識、三角点(1,295M)、石造りの祠がある。東南側からは雪をかぶった富士山の絶景が素晴らしく、南西側にも南アルプス北部の山群の眺めが広がる。頂上から北峰に続く道は雪が残っているが、頂上南側の陽だまりもあり暖かい場所

をとり、たっぷりと1時間の昼食と大休止をとる。



太刀岡山

頂上～越道峠～登山口駐車場

太刀岡山頂上から越道(こいど)峠に下る急坂は残雪が残り凍結している場所も予想されていたため、安全のため頂上出発前に全員簡易アイゼンを装着して太刀岡山北峰(1,325M)に向かう。残雪や陽だまりの混じった尾根筋の登山道をゆっくり下り、その後登りかえして雑木林に包まれた残雪の残った広い北峰のピークに着く。若干凍った残雪に覆われた



登山道を、狸か狐と思われる小動物の足跡に沿ってアイゼンでサクサクと快適に

進むと急な下り坂が始まる。木の根と岩と残雪が急坂で入りまじっているので滑らないよう慎重に30分ほど下ると広い落葉のゆったりとした尾根になり、平坦な林道に出た所が越道峠である。

越道峠からは黒富士や曲岳に向かう登山道が分岐している。

我がパーティはアイゼンをはずし平見城畜産場に向かう林道を下る。林道は畜産場までは



若干の残雪と下り坂があったがアイゼンをはかなくとも安全に歩くことができる。

畜産場からは林道はずれて、馬がつながれた牧舎に囲まれた近道を下り、曲岳方面に向かう観音峠からの車道に合流する。越道峠から約50分の歩行で出発点の下芦沢駐車場に下山することができた。

今日の山行は正味2時間45分(昼食タイム1時間を除く)の短時間の山行であったが、寒さのなかでの1時間に及ぶ急登の連続、アイゼンによる50分の雪道の快適な下りなどもあり、なかなか登り応えのあった楽しい山行であった。

(記・写真 石原 勝正)

(写真提供 涌井 良明)

